

## 10日から花モチーフに絵画展

いわき市出身の画家峰丘さん(73)の個展「峰丘と花展」は10日から、同市好間町北好間の竜雲寺で開かれる。20日まで。

峰さんは20歳から画家として日本と海外を往来し、見る人にパワーやエネルギーを伝える作品を生み出している。今回は、峰さんが10年間描きためた花をモチーフにした作品を約60点展示する。

個展にあわせて、市内の親子による生け花も並ぶ。バラやカーネーション、枝物でつくる華やかな作品が楽しめる。峰さんは「諦めない気持ちをアートで伝えたい」と意気込んでいる。

時間は午前10時～午後4時30分。同寺では、会期中の10、16、17日の午後3時まで喫茶「Cafe Dr

めぐり」を開き、ドクメンタリーとケーキを用意するほか、ヨガや写経の体験教室も開く。問い合わせは竜雲寺(電話0246・36・2753)へ。

## 発明工夫入賞者たたえる

第15回南相馬市発明工夫展の表彰式は5日、南相馬市原町区の市民情報交流センターで行われ、受賞者らの創意工夫をたたえた。



門馬和夫市長が「皆さんが大きくなって、このイノベーション・コースト構想の地で活躍されることを期待します」とあいさつ。門馬市長らが賞状を手渡した一写真。

本年度は市内の一般、児童生徒か

## 運動会で元気いっぱい

東田保育園は2日、いわき市東田町の同園で運動会を開き、園児たちが元気いっぱいの姿を披露した。年長園児は、同園伝統の東田太鼓を力強く演奏したほか、東京五輪にちなんだ障害物競走=写真、紅白リレーなどに挑戦した。



例年は0歳児から参加していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、年少以上の園児約60人の参加にとどめた。保護者の観覧も1世帯1人に制限し、密集を避けた。

## 介護支援人材研修参加者募る

いわき市は18日から、11月末に実施予定の「いわき市生活応援サービス」従事者養成研修への参加申し込みを受け付ける。先着順で定員は10人程度。

市生活応援サービスは、要介護者に対して行う洗濯や買い物などの生活支援。少子高齢化による要介護者の増加や介護人材の不足に対応するため、専門的な介護を必要な人に集中して届ける体制づくりとして市が展開している。

研修は11月25、29、30日の3日間。いずれも時間は午前9時30分～午後3時30分で、同市の総合保健福祉センターで行われる。受講は無料、交通費は自己負担。申し込みはニチイ学館いわき支店へ電話(番号0246・21・7898)またはファクス(番号0246・21・7931)で。

## 副市長と監査委員に辞令交付

いわき市の新妻英正副市長と小野益生代表監査委員への退任辞令交付式は6日、市役所で行われた一写真。

内田広之市長が新妻副市長と小野代表監査委員に辞令を手渡した。式を終えて新妻副市長は「共創のまちづくりを後輩に託したい。今後の市勢発展に期待する」と、小野代表監査委員は「今後は一市民として離れたところから市政を見守りたい」とそれぞれ話した。



## 相馬署長 事件事故防止訴え

相馬署の清水誠二署長は5日、相馬市のNリゾート福島で行われた相

馬ロータリークラブの例会に出席し、交通事故や犯罪被害の防止に向けて協力を求めた一写真。



清水署長は管内の犯罪、交通事故の発生状況について説明した。また「POLICEメールふくしま」の管内の登録件数が千件を超えたことを報告して、被害防止に活用してほしいと呼び掛けた。

## マルト保育園でAED講習会

スーパーなどを展開するマルトは5日、いわき市平の「マルト保育園あまこ」で自動体外式除細動器(AED)の講習会を開き、職員が万が一の際に備えた一写真。



同保育園の講習は初めてで、職員7人が参加した。平消防署員の指導を受けながら実際に機器を操作して使い方を学んだ。同社は13日にも、同市勿来町のマルト保育園くぼたでも講習会を開く。

## 創業への心構えを紹介

いわき地区商工会広域連携協議会は3日、いわき市の四倉商工会館で創業セミナー第1回講座を開いた。初回は無料公開講座として、講師が創業の心構えなどを伝えた一写真。



同市内での創業予定者や創業間もない人、事業を受け継ぐ人など約10人が参加。中小企業診断士の山田主規さん

が講師を務めた。山田さんは「創業はいかにやり続けるか、自分自身とビジネスモデルをいかに磨くかが大切だ」とアドバイスした。

## 認知症テーマに講演会

公益社団法人認知症の人と家族の会県支部は3日、いわき市のいわき産業創造館で世界アルツハイマーデー記念講演会を開いた。参加者は認知症の正しい知識について理解を深めた。



約50人が参加。同法人宮城県支部会員の丹野智文さんが講師を務め「認知症と共に生きる」と題して講演した一写真。

若年性アルツハイマー型認知症を患う丹野さんは、自身の経験から「講演活動など、想像もなかった仕事をするようになった。認知症になっても人生は新しくつくることができる」と前向きに語った。

## ●情報スクランブル●

■第20回心うつくしまふくしまフォーラム 19日午後1時15分～午後4時15分、オンライン開催。メンタルクリニックなごみの蟻塚亮二所長が「震災から10年 被災地の復興と心の健康～震災を受け止めて、今を生きる」と題して基調講演する。引き続き「被災者の心の健康について考える」をテーマにシンポジウムを開く。

参加希望者は、メールアドレス [sousuhofuku\\_syougai@pref.fukushima.lg.jp](mailto:sousuhofuku_syougai@pref.fukushima.lg.jp) に、①参加者氏名②日中連絡先③住所④所属・職種を記入し申し込む。締め切りは12日。

問い合わせは県精神保健福祉協会相双支部(電話0244・26・1132)へ。